

## 令和7年度第1回三鷹市消防委員会議事録

- 1 日 時：令和7年7月3日（木） 午後3時00分～5時00分
- 2 開催場所：元気創造プラザ5階・総合防災センター 災害対策本部室
- 3 出席者：
  - (1) 委員 小林副委員長、佐々木委員、成田委員、谷口委員、土屋委員、栗原委員、河野委員、田中委員、吉野委員、原嶋委員、小森委員、持丸委員、臼井委員 合計13名
  - (2) 三鷹市 河村市長、馬男木副市長、防災安全部長、防災課長、防災課課長補佐、防災課主事

4 傍 聴：なし

5 内 容：

(1) 報告事項

- ア 三鷹市消防団の現況について
- イ 令和6年度消防団活動報告について
- ウ 令和7年度消防団活動計画について
- エ 女性消防団員を含む消防団体制の充実
- オ 市内の火災発生状況について

(2) その他

<配布資料>

- 資料1 消防委員会委員名簿
- 資料2 三鷹市消防団の現況
- 資料3 令和6年度消防団活動報告
- 資料4 令和7年度消防団活動計画
- 資料5 入団希望団員受け入れフロー
- 資料6 女性消防団員アンケート結果
- 資料7 市町村別消防団組織組織規模等
- 資料8 市内の火災発生状況について

<委員の委嘱>

令和7年7月3日付け（成田委員、土屋委員）

（進行：事務局）

<事務連絡>

同会議の位置付け等について次のとおり説明

- ・本日の会議傍聴希望者はいないこと。
- ・会議録を作成し市のホームページ及び相談情報センター等で公開すること。
- ・石井委員長の欠席から、三鷹市消防委員会条例第5条第3項の規定に基づいて小林副委員長が議事の進行をすること。

<小林副委員長あいさつ>

(以降、進行：小林副委員長)

<三鷹市長あいさつ>

<成田委員あいさつ>

<土屋委員あいさつ>

<議題>

報告事項

三鷹市消防団の現況について  
事務局より「資料2」を説明

令和6年度消防団活動報告について  
消防団長より「資料3」を説明

令和7年度消防団活動計画について  
消防団長より「資料4」を説明

入団希望団員受け入れフローについて  
事務局より「資料5」を説明

女性消防団員アンケート結果について  
事務局より「資料6」を説明

市町村別消防団組織組織規模等について  
事務局より「資料7」を説明

市内の災害状況について  
消防署長より「資料8」を説明

**【副委員長】**

以上で報告事項についての説明は終わりました。ここで質疑に入らせていただきます。報告事項について、御意見、御質問はございますでしょうか。

**【委員】**

資料5の入団希望団員の先ほどの御説明の中で、資料の枠に入団後のミスマッチ解消を目的とありますが、どういったことがミスマッチと捉えられているのか教えていただけますでしょうか。

**【事務局】**

詰所に入ったことがないというのが一般の方だと思いますので、使用している装備や団の詰所の状況について知らない方もいらっしゃるというのも、皆さん想像されると思います。例えばどれぐらいのタームで訓練するのか、点検するのか、そういったことはやはり実際に見てもらわないと分からないのではないかと考えております。昨年、ちょうど観光協会のほうで消防団のツアーのようなものを開催して、九分団のほうで見学ツアーを実施したと聞いておりますが、やはり初めて見るが多かったという感想や新鮮な驚きがあったというところも聞いていますので、そのようなミスマッチを防いでいきたいと考えています。

**【委員】**

例えば、そのツアーみたいなものを動画に撮ってSNSにアップして、比較的多くの市民に見せるという手法を考えて、消防団ってどんなところなんだろうと分からない方に周知をしていく取組の御検討はされないのか伺ってよろしいでしょうか。

**【事務局】**

本団との御相談も必要だと思いますが、先ほどホームページのリニューアルというところも御説明したので、例えばそこにユーチューブのリンクを張るであったり、三鷹市の公式ユーチューブチャンネルで流すなどの取組は検討していきたいと考えています。

**【委員】**

もう一点あるのですが、持丸消防署長に伺いたいです。先ほど電気の火災が多いと伺いましたが、この電気というのは漏電なのか、それとも今よく出てくるリチウムイオン電池による発火なのか、火災の種類を教えてください。

**【消防署長】**

ちょうど同じぐらいで、リチウム電池もありますし、コンセントもありますので、どっちが多いというより、やはり両方ですね。

**【委員】**

資料7の内訳で、女性の欄と「うち機能別」という欄とありますが、これは広報に特化というようなパターンですか。

**【事務局】**

そうです。火事の現場には行かずに、本団付でのその他の活動を行います。

**【委員】**

もう1つ、機能別分団というのが右側にありますが、これは何ですか。

**【副委員長】**

機能別分団というのを置いているところもあって、清瀬市などでも災害に特化して、消防団OBや消防署の方などを募り、分団をつくって活動するところがあると聞いております。また、機能別団員というのは基本団員とは違って、やはり消防職員や消防団のOB、女性などが担い手になることが想定されているという記載が消防庁のホームページに書いてありました。

**【委員】**

狛江市は女性が4人いて、機能別が4人全員ということになるのか。

**【副委員長】**

全員が広報等に係る機能別ということになると思われます。

**【委員】**

三鷹市消防団としては、機能別を考えているのか。

**【副委員長】**

三鷹市消防団として機能別は考えていないということです。

**【副委員長】**

ほかに何かございますでしょうか、よろしいでしょうか。

それでは御質問などないようですので、報告事項はこれで終わらせていただきます。

次にその他で、何かほかに御質問等ございましたらお願いいたします。せっかくですから質問されてない方、どうぞ。

**【委員】**

今の御説明と資料を拝見して、既にすごく学ぶことが多いなということで、どうもありがとうございます。女性で以前希望があったものの、団員にならなかったところから、このような資料、環境をつくったところはずごく良い取組で、そういう方を逃さないというのはすごく大事なと感じております。団員までならなかったとしても、どのぐらいニーズがあるのかが少し分かるのではないかなというところで、すごく期待できる取組であると思いま

した。

**【委員】**

消防団の現状を見ると、この間、三鷹では欠員がない期間が少ないという現状と思いますが、なかなか大変だなと思います。その中で活動を行うというのは消防団をしっかりと支えていかなければならないと思います。そういう意味でよく知っていただくということが中心であり、要だと思いますので、住協やいろいろなコミュニティまつりなどの手伝いをされていますけれども、そのような事業から活動できるのではと思っています。今度、操法の大会もあるかと思うので、やっぱり身近な分団の活動の1つで、広く市民の方にも普及していただけるかなと思います。

また、救急搬送の件で、悩まない状態にならないことが重要だということでしたので、やはり熱中症による体調不良というのは子どもからお年寄りまで広がっていますので、署や市としても広く広報に努めていただきたいなと思いました。一定の広報はされていると思いますが、悩まない・躊躇しないことも重要です。自分で判断できない場合には連絡をして診断を仰ぐというのは、躊躇しない119番の使い方というのも広めていただきたいなと思います。

ありがとうございます。

**【委員】**

3年計画で可搬ポンプを全部新しくするというので、可搬ポンプは普段使用することは少ないと認識していますが、大災害等で必ず使用すると思うので、良い話だと思いました。

**【委員】**

農業委員会とスケジュールが重なり、2年ほど来られていなかったもので、こういった女性団員の話等、ここまで新しく話が進んでいると、今日来て初めて知りましたので、新しい三鷹市消防団にわくわくした委員会でした。どうもありがとうございます。

**【委員】**

やはり資料5の右側の受け入れフロー、これは女性団員とは限らないということですが、三鷹市の現状の課題としては、女性団員の募集に関しては喫緊の課題かなと思っています。機能別団員ということは考えていない、これは私も今までこの委員会の中で、三鷹市消防団の現状としては平日の昼間の火災の出動人員の確保が最大の課題なので、やはり機能別ではなくて一緒に活動してもらえる女性団員を募集するべきではないかということで発言させていただき、課題と思ってきましたので、いい方向に進めるのかなと思っています。

募集に関してお聞きしたいんですが、今まで男性団員だけをリクルートしたり募集をしたり、いろいろ地域の方から紹介をしていただく形で消防団員の募集はしてきたところですがけれども、今後は積極的に女性にもリクルート活動をしていくのか、今のところはかつて一分団であったように、希望者が出た場合に対応するのか、今、各分団や消防団全体の考え方としてはどの程度までの状

況ですか。

**【委員】**

やはり欠員が出ている分団があります。なので女性、男性関係なく入団してくれる人を広く求めていきたいという考え方が強いので、もちろん最初の取っかかりは女性をとという感じになってしまうかもしれませんが、基本的には先ほどの条例にあるとおり、男女問わず入団の門戸を広げていますということは広く周知していこうと考えています。女性だから入れますとか、もちろん、そういうアプローチはしたくないです。

**【委員】**

そうすると例えば私たちが、OBという立場、地域に何かそういう意欲を持っている人がいたら、どんどん積極的に分団とか防災課のほうに紹介していく方向でよろしいですか。

**【委員】**

はい、やはり一定数防災意識の強い方々がいらっしゃいと認識しています。ただ、そのような声というのは、なかなかこちらまで伝わりづらいということもあって、同じように市にこういった広報をしていただくことでミスマッチなどなく受け入れることができるかなということを考えております。

**【委員】**

私も2年ぶりでございます。

受け入れフローは非常にいいことだなと思います。10年ぐらい前はこういう人が入団希望ですみたいな形で分団で対応していたので、こういう取り組みはいいなと思います。

**【委員】**

そうですね、先ほどから出ている御意見と同じなんですけど、一気に女性団員の採用に話が進んだなと思って、非常にうれしく思っています。

さっき募集に関して、定員割れしているところのほうが女性を受け入れるというお話がありましたけれども、直接それとは別ですが、実際に定員割れしていないところってどれほどあるのでしょうか。女性だから入れるとか、女性だから入れないというように思われなような規準というものを考えておかないと、男性でももちろん、何であの人は入れて私は入れないんだと思う人もいると思うので、そのような基準を考えていただくといいかなと思いました。

**【委員】**

お聞きしたいのですが、女性団員の話は随分以前にも出ました。この話は出ては消え、出ては消えていると思いますが、私の記憶だと相当前、15年から20年前かもしれませんが、女性団員を受け入れるに当たり、詰所に女性の更衣室を作る、トイレを別にする、そういったさまざまなハード面のハードルが高いという話を聞いたことがあるんですけど、そういった問題はないのですか。

### 【事務局】

団長とも近隣市のヒアリングをしましたが必ずしも更衣室までは必ずしも必要じゃないというお声も結構いただきました。とはいっても、一定程度の環境の改善が必要だと思っているので、もし、入団の希望があった場合に、一定程度の期間があるので、一応今年、2個分団のトイレの改修費用も確保していますので、そういった対応をさせていただきたいと考えます。

### 【委員】

団員の平均年齢が毎年上がり、欠員が生まれてくるときに、やはり引退される方がいることで欠員が生じる傾向かと思うのですが、将来的に次はどの分団で欠員が出るという問題に対しての対策はされていらっしゃるかと思うんですけど、経験則の見通しでは、人員構成というのはどのように推移していくのかというのをお聞きしたい。

### 【事務局】

一応55歳が定年というところで、実際に55歳まで団員として務められるのはほんのごく一部で、1人とか2人とか、そういったところがございます。どうしても、大体40代ぐらいで、ちょうど2年の任期の終わるタイミングでお辞めになる方も結構いらっしゃいますし、あと昨今、サラリーマン団員が増加して転勤とかそういった問題もあるので、勤め上げて辞めるというよりも、期のタイミングや、入団希望者が入ったタイミングで辞める方が多いです。

とはいいいましても、分団によっては高齢化が進んでいる分団があって、近々、次の任期替えて大幅な欠員が出るという分団も承知していますので、そのあたりは事務局と分団とでリクルート活動を、例えばチラシを重点的に配ってみるとか、そういったところで事前に対策はしているつもりなんですけど、とは言っても地域柄もあるのでなかなか難しい状況がありますが、尽力はしているということで御理解ください。

### 【委員】

平均的に何年ぐらい団員の期間というのはあるのか。入ると辞められないんじゃないかとか、それこそ転勤とか、その地域を離れなければ辞められないんじゃないかとか、そういうことを理由に入団志望しないであったり、学生だったら大学1年生なら4年間でもいいなということであれば、またちょっと違ったリクルートの仕方があると思いますし。そういう点ではどうでしょうか。

### 【事務局】

それも資料として数字で持っているものの、今はちょうど手元にないんですけど、20年は超えていない数字だったと記憶しています。

学生に対しては、分団のほうも学生、大学生にいる期間だけということを知っていて、その期間で頑張っていたかということ、逆に自分の就職につなげたいという学生が多いので。令和4年度までいた杏林大学の学生さんはすごく第一分団のほうで頑張っていたということも聞いています。学生は限られた期間ですけども、そこは活躍していただくということで、大変貴重な戦力

と云ったら失礼ですけども、地域貢献していただいているのかなと感じます。

**【副委員長】**

ありがとうございます。

何かほかに御意見、御質問ございますでしょうか。よろしいですか。

それでは、特に御質問等がないようですので、最後に事務局のほうから連絡事項はございますでしょうか。

**【事務局】**

ありがとうございました。

本日の委員会では特に女性消防団員のリクルートについて活発な御議論をいただきました。どうもありがとうございました。皆様からいただきました御意見を参考にしながら消防行政を進めてまいりますけれども、また年度途中で皆様に御意見を伺いたいというような案件が生じた場合には、年度途中で会を開催させていただくということも生じるかもしれませんが、その際は御協力いただきますよう、よろしく願いいたします。

事務局からの連絡は以上になります。

**【副委員長】**

ただいま事務局からの報告事項が終わりました。

以上をもちまして、本日の消防委員会を閉会させていただきたいと思えます。委員の皆様方には、任期中、引き続きどうぞよろしくお願いいたします。

本日は本当にありがとうございました。